



令和3年6月

発行 出雲大社相模分祠 神奈川県秦野市平沢 1221 TEL:0463-81-1122 FAX:0463-82-1728 編集兼発行人 副分祠長 草山和泉 季刊毎年2回発行 https://www.izumosan.com/

いやくまじない はじ 衛生の努めを全くとすべき事

出雲大社教 教典『大道要義』 第十五章より(明治年間発行)

出雲大社相模分祠では皆様方に安心してご参拝頂けますよう感染防止対策を実施して、お守り・ご祈禱の受付など午前八時三十分〜午後五時まで受付しております。
・手水舎のかわりに消毒液をご案内・社会的距離の徹底
・分散参拝・三密の回避・定期的なアルコール消毒の実施
・医療機関による職員の定期健康診断
・大型空気清浄機の導入等
いち早く健康な社会生活に快復しますよう心よりお祈り申し上げます。

令和三年 ほおずき市・縮小実施

恒例のほおずき市朝顔市ですが、新型コロナウイルスの影響をうけて、イベント自粛とあわせ縮小実施します。例年行っておりました駅からの無料送迎バスや、太鼓やダンスなどの催し事は開催しません。
例年五〇〇鉢以上のたくさんのおおずき、朝顔を飾っていましたが、ほおずきの頒布のみとし、お守りなどと同様に通常頒布します。規模を縮小し、感染対策を徹底し、本来の趣旨である先祖供養の行事は執り行います。



- 一、ほおずき市 境内参道にて 七月十一日(土) 十七〜十八日(土) 十時〜十七時
ほおずき籠付き 二〇〇〇円 ※二〇〇鉢限定とさせていただきます
切り花ほおずき 一〇〇〇円
キッチンカー等テイクアウト販売あり
※社会情勢により変更することもございますので予めご了承願います。

鎮守の森を守る

出雲大社相模分祠の境内には、今では二万本以上の木々が生育され、鎮守の森を形成しております。平成十九年には、横浜国立大学宮脇昭名誉教授



植樹が行われました。また平成十八年、出雲記念館の屋上にソーラーパネルを設置、境内には風力発電式の外灯を設置。以後、太陽光発電式外灯や、電気自動車用の急速充電器を設置し、美しい日本を後世に守り継ぐべく積極的に環境問題に取り組んでおります。

ヤギの奉納・放牧

令和三年二月十三日にファーム田形よりヤギ二頭が奉納され、齋館裏の竹林内で飼育を始めました。



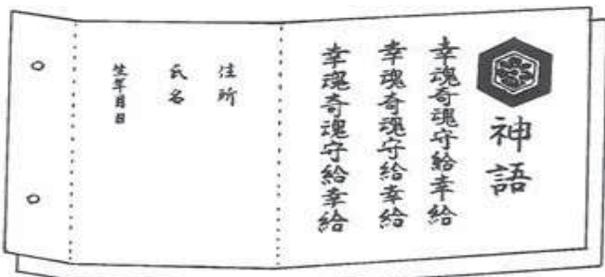
次郎(じろう)(雄) 令和元年十月三十一日 生・シバヤギ系
もも(雌) 令和二年十一月二十二日 生・シバヤギ系

普段は竹林内のヤギ小屋にいますが、日によって竹林、参道に放牧して境内清美の役を担います。二頭とも大人しく人懐っこい性格なので写真撮影等は可能ですが、次郎は大きな角があるのでご注意下さい。

神語奉書奉納の御案内

昨年に引き続き、感染症蔓延防止のため、島根県出雲大社への参拝を自粛しております。「神語奉書」を奉納して大神様との中執りもちを尽くします。皆様の願い事を含めて謹書して頂いた神語奉書は八月上旬の出雲大社教団大祭(島根県)において、大國主大神様の大御前にてご祈念し奉納致します。

※一枚につき 一〇〇〇円。社頭にてご対応しております。



郵送祈禱のすすめ

新型コロナウイルス感染症対策として人と人との接触が制限される中、初詣や安産祈願・お宮参りなど日取りを定められなくお困りの方も多くおられました。今回のコロナ禍に鑑みまして年末のみお申込みを承っております。お申込みを承っております。お申込みを承っております。お申込みを承っております。

夏の行事のご案内

一、月次祭 毎月一日 午前十時三十分齋行 事前予約不要・無料
二、夏越の大祓 茅の輪くぐりの神事(詳細四回) 六月二十七日(日) 午後三時 三十日(水) 午後六時 七月 四日(日) 午後四時
一、ほおずき市 七月十一日(土) 十七〜十八日(土) 十時〜十七時

一、永代供養相談会 随時実施(予約制)
一、夏越の大祓 茅の輪くぐりの神事(詳細四回) 六月二十七日(日) 午後三時 三十日(水) 午後六時 七月 四日(日) 午後四時
一、ほおずき市 七月十一日(土) 十七〜十八日(土) 十時〜十七時